

2019年8月17日



日本フォーミュラスリー協会

全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権について

拝啓

残暑厳しき折、皆様におかれましてはますますご健勝のことと心より御慶び申し上げます。

平素は弊シリーズへ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、1979年に始まり、本年41年目のシーズンを迎えた「全日本F3選手権」は、去る8月9日、JAF（日本自動車連盟）より公示されましたように、来たる2020年よりシリーズ名称を「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権（略称SFL）」として、新たなスタートを切る運びとなりましたこと、ここにご報告させていただきます。

新たに始まる「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」は、これまで「全日本F3選手権」が果たして参りました、“トップドライバーへの登竜門”としての重責を継承、そのシリーズ名称のように国内最高峰カテゴリーである「全日本スーパーフォーミュラ選手権」や「SUPER GT」へ直結した全日本選手権シリーズとして、引き続き2020年以降も日本フォーミュラスリー協会にて運営を担ってまいります。

「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」では、これまで高く評価されてきた現行車両のパフォーマンスをさらに高めつつ、Haloやサイドインパクト、大型リヤストラクチャーの採用など、より安全性を高めた「Dallara 320」をワンメイク車両として採用。この「Dallara 320」は、エンジンやギヤボックス、サスペンションなどのメカニカルパーツ、前後ウイング、電気系統など、現行車両から多くの部品をキャリーオーバーすることが可能であり、最新の安全性を採り入れながら参加エントラントの車両導入時の費用負担を抑制できるものとなっております。

その上で「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」では、シリーズへの参戦コストを抑制するべく、シリーズ大会数を絞り込む一方、3レース制大会の確保とレースウィークの専有走行の拡充等により、若手ドライバーの成長にとって欠かせない走行マイルージと実戦経験の確保に務める所存です。

これまで関係者の皆様より「全日本F3選手権」に賜りましたご支援・ご厚情に感謝いたしますとともに、2020年から始まります「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」につきましても、変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

■ Dallara 320



■Dallara 320 諸元表

安全規定	FIA F1 2018 テクニカル・レギュレーションに準拠	
Safety equipment	チタン製 Halo、サイドストラクチャー、リヤストラクチャー、シートピローなど	
Fuel cell	FIA FT5	
Wheelbase	mm	2866
Front Track	mm	1618
Rear Track	mm	1540
Dry weight	mm	ドライバーとバラストを含んだ状態で 585kg(予定)
Gearbox	Hewland F3B-200 6 速シーケンシャル + リバース	
Engine	FIA F3 2018 テクニカル・レギュレーション準拠 (現行 F3 搭載エンジン)	
Electronics	Bosch MS5.8 - Bosch C60 - Megaline セミオートマチックシステム	
Mechanical	サスペンション類、ダンパー、ブレーキ、ホイールなど現行パーツを踏襲	